

令和4年度第1回宿毛市地域公共交通会議

開催日時：令和4年6月23日（木）10時00分～

開催場所：宿毛市役所 3階 会議室 301

【参加状況】

出席：委員 14名 + 事務局（企画課）2名

欠席：委員 3名

【報告事項】

①宿毛市地域公共交通網形成計画の実績評価について

【意見等】 特になし

【協議事項】

①地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について

協議理由：令和4年10月1日から令和5年9月30日の期間におけるコミュニティバスの運行に対して国庫補助を受けるため

【意見等】（●…委員 ○…事務局）

目標設定について

●コミュニティバス利用者数に関しては、全区間においては20.2人/日、市中心部においては7人/日を下回らないという目標設定になっているが、昨年実績と比較しても余裕があるため、もう少し高めの目標を掲げるべきではないか。

○目標については、昨年度実績（全区間においては30.8人/日、市中心部においては10人/日）を下回らないという内容に修正する。

市役所庁舎移転に伴うコミュニティバス路線変更後の利用者数について

●新庁舎におけるコミュニティバス利用者数はどのくらいか。また新庁舎へは十分な回数の接続ができているのか。

○新庁舎における利用者数についてはまだ調査できていないが、接続回数については移転前の旧庁舎への接続回数と比較しても増加している。

〈結果〉

委員数 13人（会長を除く）

「承認する」と回答した委員数 13人

「承認しない」と回答した委員数 0人

⇒原案のとおり承認

②宿毛市地域公共交通計画について（骨子(案)、スケジュール(案))

協議理由：今年度策定する「宿毛市地域公共交通計画」について、計画骨子および策定までのスケジュールを確認するため

【意見等】（●…委員 ○…事務局）

- 公共交通に対する市民のニーズを過去に実施したアンケート結果から考察するとあるが、アンケートの実施時期と回答数はいかがか。
- 市内の公共交通空白地区を対象としたものであり、1つは平成30年度に東部地区を対象に実施したもので、回答数は774（回答率56%）。もう1つは平成31年度に大島地区を対象に実施したもので、回答数は178（回答率67%）である。
- 現在コミュニティバスを利用していない人が、いざ利用したいとなった際に時刻表などが簡単に確認できるよう、例えば防災アプリに載せるなどを検討してはどうか。また高齢者が免許返納をしても困らないようなバスの走らせ方を意識しながら次の計画を策定してもらいたい。

〈結果〉

委員数 13人（会長を除く）

「承認する」と回答した委員数 13人

「承認しない」と回答した委員数 0人

⇒原案のとおり承認

③黒川地区（平田町）における三原バスへの乗車について

協議理由：三原村が運行するコミュニティバス（三原バス）については、村外で乗降が完結する利用方法は現状認められていない。しかしながら、路線沿線にある平田町黒川地区の住民から幡多けんみん病院までの移動手段として三原バスを利用したいとの声があがっており、三原村より制度変更を検討したいとの相談があったため

【意見等】（●…委員 ○…事務局）

- 黒川以外の地区、例えば戸内などからも乗車可能になるのか。
- 黒川地区については問題ないが、高知西南交通(株)の国庫補助路線バスが平田駅から幡多けんみん病院まで運行しているため、三原バスへも乗車可能となると競合等の問題がある。
- 現時点で三原村からは黒川地区のことしか聞いていない。今後、三原村と話を詰めながら必要に応じて協議の場を設けることとしたい。

〈結 果〉

委員数 13人（会長を除く）

「承認する」と回答した委員数 13人

「承認しない」と回答した委員数 0人

⇒ 黒川地区における三原バスへの乗車を可能とするための検討を進めていく
ことについて承認